

退院後の脊髄損傷者が抱える痛みと生活の現状に関する調査

看護部 4階病棟 廣田早苗 新井むつ子 赤川詠子

1. はじめに

脊髄損傷は麻痺の他に痛みや痺れを伴うことが多く、日常生活にも大きく影響する。だがその症状については、患者の訴えや見かけから第三者が詳細に理解するのは不可能に近い。入院中から患者・看護師・医師とともに痛みの対処方法を探っているが、有効かつ確実な方法はなかなか見出せない。そこで今後の看護の参考とし、退院した脊髄損傷者の痛みと生活現状を調査したので報告する。

2. 目的

退院した脊髄損傷者の痛みの現状、日常生活に及ぼす影響と対処方法について明らかにする。

3. 研究方法

1) 方法：郵送による自記式質問紙調査票を用いた実態調査。

2) 対象：H18. 4.1 から H19. 12. 31 までにA病棟に入院した脊髄損傷患者 126 名。

4. 結果

1) 有効回答数は 78 名。受傷歴は平均 3.54 年、入院時の平均 BI は 38、FIM は 75、退院時平均 BI は 61、FIM は 95 であった。痛みがあると回答したのは 65 名 (83%) であった。

2) 年齢区分では 61 歳以上で 20 名中 18 名 (90.0%)、次いで 41 歳～60 歳の 27 名中 23 名 (85.1%) に痛みがあると回答していた。

3) 痛みがある中で、「仕事・家事ができる」と回答した割合は、23 歳～40 歳では 11 名 (57.9%)、41 歳～60 歳では 13 名 (56.5%) であった。「交流・余暇が楽しめない」と回答した中で最も多い年代は、41 歳～60 歳の 15 名 (65.2%) であった。反対に「交流余暇が楽しめている」と回答した中で最も多いのは、22 歳以下 4 名 (80.0%)、次いで 61 歳以上 13 名 (72.2%) であった。

4) 痛みの対処方法の中では 41 歳～60 歳 6 名 (26.1%)、23 歳～40 歳の 6 名 (31.6%) が薬剤を使用していた。41 歳～60 歳の年代では、マッサージをしていると回答したのは 12 名 (52.1%)、ストレッチをしていると回答したのは 13 名 (56.5%) であった。61 歳以上の年代では 10 名 (55.5%) がストレッチをしていると回答していた。

5. まとめ

1) 脊髄損傷者の 8 割が痛みを持ちながら生活しており、年齢が高くなるに伴い人数の割合が増す傾向にあった。

2) 成人・壮年期は仕事・家事への影響が約半数であった。又、交流・余暇は楽しめず外出を控える傾向にあるが対処方法は積極的に行っていた。老齢期は 9 割に痛みがあった。外出は控える傾向にあるが、交流余暇は楽しんでいて回答が多く、痛みを紛らわしていた。

3) どの年代も薬剤を使用しているが、年齢が高くなるに伴いマッサージ・ストレッチなどの対処方法を組み合わせて行っていた。

4) 世代に応じた痛みの紛らわし方や医療的対処方法を話し合いながら一緒に考えていく必要もあるといえる。

対象の属性と痛みがあると答えた人の割合

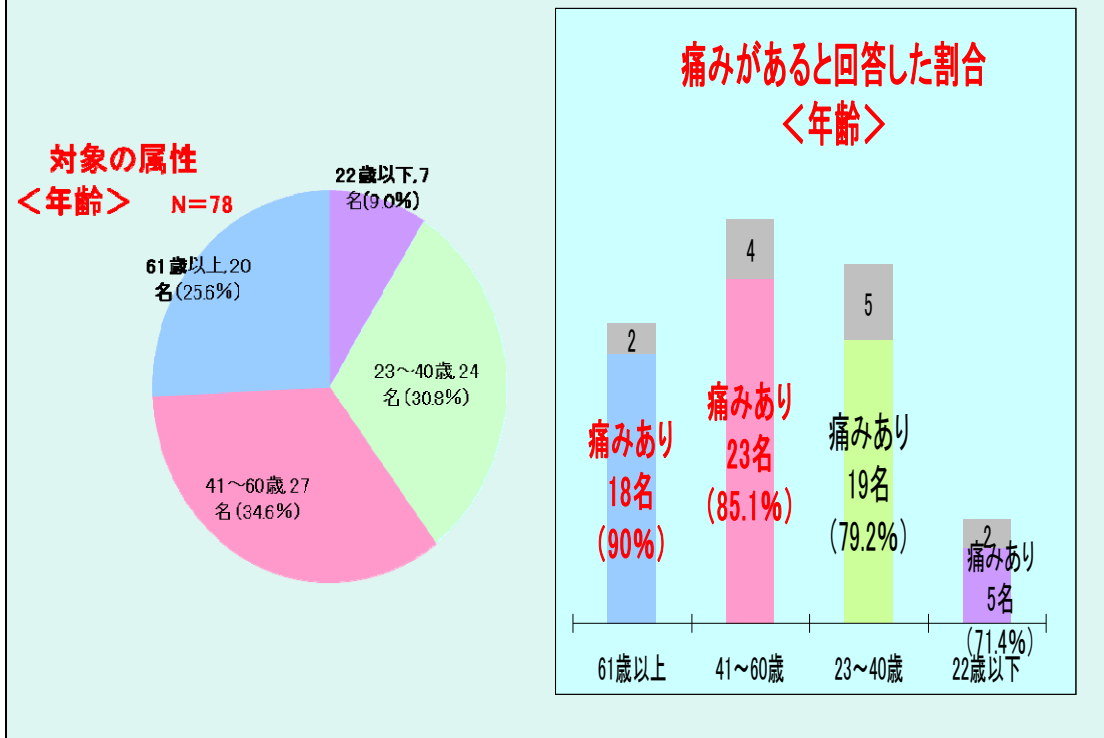


図1 対象の属性と痛みがあると答えた人の割合

項目	22歳以下 n=5 (%)	23~40歳 n=19 (%)	41~60歳 n=23(%)	61歳以上 n=18(%)
日常生活動作ができなくなる	1 (20.0%)	5 (26.3%)	6 (26.0%)	3 (16.7%)
日常生活動作ができる	4 (80.0%)	14 (73.4%)	17 (73.9%)	15 (83.3%)
仕事・家事ができなくなる	1 (20.0%)	8 (42.1%)	10 (43.4%)	6 (33.3%)
仕事・家事ができる	4 (80.0%)	11 (57.9%)	13 (56.5%)	12 (66.7%)
交流・余暇がたのしめない	1 (20.0%)	11 (57.9%)	15 (65.2%)	5 (27.8%)
交流余暇が楽しめる	4 (80.0%)	8 (42.1%)	9 (39.1%)	13 (72.2%)
外出がおっくうになる	1 (20.0%)	16 (84.2%)	15 (65.2%)	10 (55.6%)
外出がおっくうにならない	4 (80.0%)	3 (15.8%)	8 (34.7%)	8 (44.4%)
イライラするようになる	2 (40.0%)	16 (84.2%)	11 (47.8%)	11 (61.1%)
イライラすることがない	3 (60.0%)	3 (15.8%)	12 (52.1%)	7 (38.9%)

表1 年齢別における痛みが日常生活へ及ぼす影響

項目	22歳以下 n=5 %	23~40歳 n=19 %	41~60歳 n=23(%)	61歳以上 n=18(%)
薬剤	2(40.0%)	6(31.6%)	6(26.1%)	8(44.4%)
温熱療法	0(0%)	3(15.8%)	7(30.4%)	5(27.8%)
電気療法	0(0%)	1(5.3%)	5(21.7%)	3(16.7%)
ブロック療法	0(0%)	1(5.3%)	2(8.7%)	2(11.1%)
マッサージ	1(20.0%)	9(47.3%)	12(52.1%)	9(50.0%)
ストレッチ	0(0%)	7(36.8%)	13(56.5%)	10(55.6%)
アロマセラピー	0(0%)	0(0%)	3(13.0%)	1(5.6%)
音楽療法	0(0%)	1(5.3%)	7(30.4%)	1(5.6%)
その他	2(40.0%)	5(26.3%)	15(65.2%)	3(16.7%)
回答数	5	33	70	42

表2 年齢別における痛みの対処方法